

テーマ : エレベーターの安全性向上及び地震時等の閉じ込め救出の迅速化
実施期間 : 令和7年11月～令和9年3月
連携企業 : 京都エレベータ、三和エレベータサービス



**【KYOTO CITY OPEN LABO】
公民連携によるオープンイノベーション**

【募集概要】

・本市が抱える様々な行政課題に対し、民間企業から技術やノウハウ、アイデアなどを募集したうえで、本市と民間企業が一緒になって、実証実験等により課題解決に取り組む仕組み。

URL : <https://open-labo.city.kyoto.lg.jp/issue/issue-3474/>



| | |
|-----------------------|---|
| <p>実現したい未来</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地震時等の災害時に、エレベーター閉じ込め事故が同時多発した場合にも業界全体で早期に対応できるよう、平時から会社の枠を超えた連携を促す。 |
| <p>現状</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・京都市内の乗用エレベーター約15,500台のうち、毎年の定期報告が未報告で保守状況等が不明なもの約500台（建物除却による廃止届の未提出等も含む）ある。また、設置後の建築基準法の改正により、最新の安全装置が設置されていないエレベーターが多数ある 特に保守契約のないエレベーターは、日常点検や改修がされていないので、機器の劣化による故障や事故発生時のリスクが高く、事故対応が円滑に進まないことが懸念される。 ・京都市において、大規模地震時にエレベーターの閉じ込め事故が約80件同時に発生する可能性がある（大阪府北部地震時と同規模被害を想定）。 ・エレベーターの閉じ込め救出活動は民間保守事業者が担っており、会社の枠を超えた事前対策や協力関係が築けていない。 ・エレベーター閉じ込め救出が保守会社任せとなっており、所有者・管理者側がすべきことの認識が不足している。 |
| <p>解決したい課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・行政とエレベーター保守会社が連携し、定期報告の報告率を向上させ、事故・救出遅延リスクを減らすとともに、閉じ込め救出に相互協力できる仕組みをつくりたい。 ・所有者・管理者の自助活動を促すと共に日常の防災意識を高めたい。 |

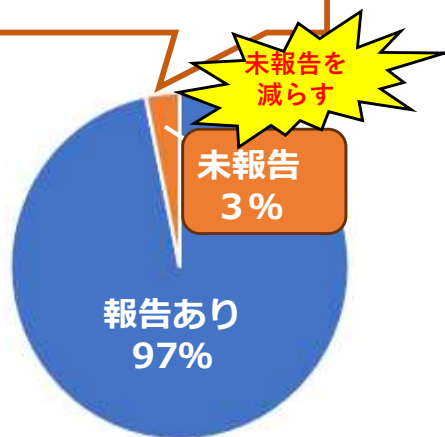
取組内容：

- ① 民間活力による未報告の解消 **(定期報告率の向上)** 【京都エレベータ・三和エレベータサービス】
- ② 合同研修会による **保守会社間の連携** を促進 【三和エレベータサービス】
- ③ **啓発動画** により、所有者の **自助活動促進** 及び **日常の防災意識の向上** 【京都エレベータ】

① 定期報告率の向上

【定期報告率の向上】

未報告リストを分析したうえで、連携した保守会社が所有者に保守契約を提案し、未報告を減らす



乗用エレベーター
定期報告の報告状況
※R5,6に報告があったもの

② 保守会社間の連携

【保守会社×保守会社との連携】

保守会社が相互連携し、
発災時マニュアルの共有や大規模地震時の
閉じ込め救出に協力できる仕組みを構築



③ 啓発動画による防災意識向上

【啓発動画】

実際のエレベーターで閉じ込め状態をつくり、救出に必要な自助活動（通報方法、復旧操作方法）、日常の防災意識（鍵・図面・機器マニュアル、遠隔監視システム、防災キャビネット等の常設）を啓発



参考：救出訓練動画
(京都EV作成)



京都市HPに
啓発動画や本取組を公表